

## 三角形の傍心の位置ベクトル

三角形あれば、その各頂点に対して、傍心 $^1$ が定まる、よって、三角形の3頂点の位置ベクトル を用いて、傍心の位置ベクトルを表すことができる、本稿では、加重重心の結果2を用いて、傍 心の位置ベクトルの美しい表示を与える.以下では、sin ∠A のことを sin A と表し、△ABC の 面積もまた,△ABC で表す.

命題. 3 点  $A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})$  を頂点とする  $\triangle ABC$  の頂角 A, B, C 内の傍心をそれぞれ,  $I_A(\vec{i_A}), I_B(\vec{i_B}), I_C(\vec{i_C})$ とする。また、辺BC, CA, ABの長さをそれぞれ、a, b, cとする。この

$$\vec{i_{A}} = \frac{-(\sin A)\vec{a} + (\sin B)\vec{b} + (\sin C)\vec{c}}{-\sin A + \sin B + \sin C} = \frac{-a\vec{a} + b\vec{b} + c\vec{c}}{-a + b + c}$$
(1)

$$i_{\mathbf{B}}^{\dagger} = \frac{(\sin \mathbf{A})\vec{a} - (\sin \mathbf{B})\vec{b} + (\sin \mathbf{C})\vec{c}}{\sin \mathbf{A} - \sin \mathbf{B} + \sin \mathbf{C}} = \frac{a\vec{a} - b\vec{b} + c\vec{c}}{a - b + c}$$
(2)

$$\vec{i_{\rm C}} = \frac{(\sin A)\vec{a} + (\sin B)\vec{b} - (\sin C)\vec{c}}{\sin A + \sin B - \sin C} = \frac{a\vec{a} + b\vec{b} - c\vec{c}}{a + b - c}$$
(3)

が成り立つ.

証明. どれも同じなので、頂角 A 内の傍心 I<sub>A</sub> に対する主張 (1) だけ示す. 傍心 I<sub>A</sub> は、三角形の外部の右図のような位置に存在す

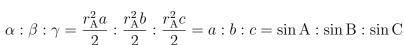
る.  $\triangle BI_AC$ ,  $\triangle CI_AA$ ,  $\triangle AI_AB$  の面積比を  $\alpha:\beta:\gamma$  とす ると、加重重心の結果から、傍心 IA の位置ベクトルは、

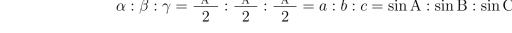
$$\vec{i_{\rm A}} = \frac{-\alpha \vec{a} + \beta \vec{b} + \gamma \vec{c}}{-\alpha + \beta + \gamma}$$

と表せる. 辺 BC, CA, AB の長さをそれぞれ, a, b, c と し、傍接円、外接円の半径をそれぞれ、 $r_A$ 、Rとすると、

$$\triangle BI_{A}C = \frac{r_{A}^{2}a}{2} = r_{A}^{2}R\sin A$$

が成り立つ. (2つ目の等号は正弦定理を用いた.) 他の小三角形に関しても同様に考えることで,







が従う.

 $\triangle$ ABC に対して、 $\angle$ A の内角の二等分線と、 $\angle$ B、 $\angle$ C の外角 の二等分線の交点を頂角 A 内の傍心という. 頂角 A 内の傍 心は,辺BCと,辺CA,ABの延長線から等距離にあること が知られている. この性質から, 頂角 A 内の傍心を中心と して、辺BCと、辺CA、ABの延長線に接する円が描ける. この円を(頂角 A 内の傍心を中心とする)傍接円という. 同 様にして, 頂角 B, C 内の傍心が定まり, それらを中心とす る傍接円が定まる.このようにして、1つの三角形に対して、 3つの傍心と、3つの傍接円が定まる.

<sup>2</sup>加重重心の拡張 https://gleamath.com/weighted-center02/

